

↓ 激しく打ち合う選手たち



一瞬で決まる真剣勝負！ 第52回美浜町民剣道大会

【大会結果（敬称略）】

3月10日に、第52回美浜町民剣道大会が美浜西小学校体育館で開催されました。

大会は全4部門に分かれて開催され、小学生から大人まで18人が出場しました。

選手たちは、互いの間合いをとりながら隙を見つけ、気合の入った声とともに一本を取り合っていました。

大会結果は右のとおりです。

	小学生男子の部	小学生女子の部	中学生の部	高校一般の部
優勝	久保 寛人	北山 由記子	崎元 蓮太	崎元 雄紀
準優勝	八木 創平	足立 智香	田村 仙	田邊 卓士
3位	久保 慧人	堀 ここみ	岸本 聖也	石丸 陽一郎

↓ シールを使ってフレイルチェックを行う参加者たち



フレイル（虚弱）の兆候をチェック フレイルチェック測定会

2月21日に、フレイルチェック測定会がはあとぴあで行われました。

この測定会は、高齢者の健康づくりを目的に町が開催したもので、今回が2回目の開催となりました。

当日は、新庄区と佐田区の参加者17人がフレイルサポーターの協力を受けながらチェックを行い、生活習慣や食生活等を見直していました。

↓ 新作狂言「クローン人間」



古典の笑いと現代の笑いのコラボレーション 古今狂言会

2月16日に、古今狂言会がなびあすで行われました。

当日は、野村万蔵さんや南原清隆さんらによる古典狂言「蚊相撲」「舟ふな」、新作狂言「クローン人間」が演じられ、演者の滑稽な動作や抑揚のある台詞の言い回し等により、会場は笑いに包まれていました。



まちウォッチング atching

三方五湖春まつり を開催します！

■ 日時

3月30日(土)～31日(日)
いずれも午前10時～午後3時

■ 会場

レインボーライン第1駐車場

■ 内容

- みはま餅っこ隊による
つきたて餅の振る舞い
※先着100人/回(午前・午後1回ずつ)
※3月31日のみ
- 三方湖コイ汁&
へしこおにぎりの振る舞い
※先着100人/日

期間中は…

- ◎ レインボーラインの通行料が半額！
(普通車1,040円→520円)
- ◎ 若狭町観光船レイクルーズの
乗船料を割引！
(大人1,000円→800円)
(子ども 500円→400円)
- ◎ 山頂公園入園料が半額！
(来場者800円→400円)

- 地元特産品が当たる
「#(ハツシュタグ)キャンペーン」
- お抹茶のおもてなし(お菓子付き)
※300円/人
- バルーンアート無料配布
- 美浜町・若狭町特産品等販売

■ その他

美浜町・若狭町の両町民は、2019年4月1日～2020年3月31日まで
レインボーライン山頂公園の入園料が半額(400円)になります。

※お問い合わせ先 町商工観光課(担当・大同) ☎ 32-6705

美浜東「美し野ニュータウン」
現地見学会を開催します

● 日時

4月19日(金)～22日(月)
※午前10時～午後3時(各日とも)
※荒天の場合は中止します。

● 会場

美浜東「美し野」ニュータウン
(山上)

● 内容

- ・ 分譲地の見学
- ・ 購入手続きや補助制度の相談会

● その他

事前申し込みは不要です。お気軽
にお越しください。

※ お問い合わせ先

町美浜創生戦略課(担当・山口)
☎ 32-6715

4月1日から 母子家庭等医療費助成制度が一部改正されます

町では、母子家庭等(母子・父子・準母子・寡婦家庭)の方の健康の保持増進を目的に医療費の一部を助成しています。

■ 「寡婦」の定義の変更による対象者の変更

改正前	改正後
夫と死別や離婚した後に婚姻せずひとりで暮らしている女性で 後期高齢者医療制度未加入者(75歳到達まで)の方	配偶者のない女性であって、かつて配偶者のない女性として児童を扶養していたことのあるもので、その者と同居する者がなく、 後期高齢者医療制度未加入者(満75歳到達まで)の方

(注) 今回の改正により「寡婦」の要件に該当しなくなる方で、現在受給者証をお持ちの方については、7月31日までに診療を受けた分までの医療費までが助成の対象となります。

■ 準母子家庭(※)の医療費助成制度の対象者の変更

改正前	改正後
養育されている児童	養育されている児童と養育者

※父母のいない20歳未満の児童や、ひとり親家庭の児童で父母が児童を監護しない場合にその児童を養育する家庭。

■ 助成額の交付(振込)期限の変更

改正前	改正後
申請日から60日以内に交付	申請日から90日以内に交付

※お問い合わせ先 町福祉課(担当・川口) ☎ 32-6704

↓受賞を報告する佐柿国吉会の南会長（右から1人目）と高木副会長（右から3人目）



地道な活動を評価 佐柿国吉会が「野の花文化賞」を受賞

「佐柿国吉会」が「野の花文化賞」（福井県文化振興事業団主催）を受賞し、2月27日に山口町長（当時）への報告会が行われました。

同会は、国吉城址がある佐柿区の区民で構成され、佐柿国吉城まつりや山車の巡行等を行っています。

南会長は「現在行っている活動を継承し、次の世代にもつなげていきたい」と話されていました。

↓舩水さんの報告に耳を傾ける参加者



美浜での1年間を振り返る 緑のふるさと協力隊活動報告

3月3日に、^{ますみず}舩水良子さん（緑のふるさと協力隊）による活動報告がはあとびあで開催されました。

当日は、1年間の農業やボランティア活動等の報告が行われたほか、舩水さんが一員となって活動している「美浜町女声コーラスアザレア」による歌が披露されました。

報告会後には参加者が舩水さんに対してエールを送っており、会場は終始和やかな雰囲気包まれていました。

↓息の合ったダブルスプレーをする選手たち



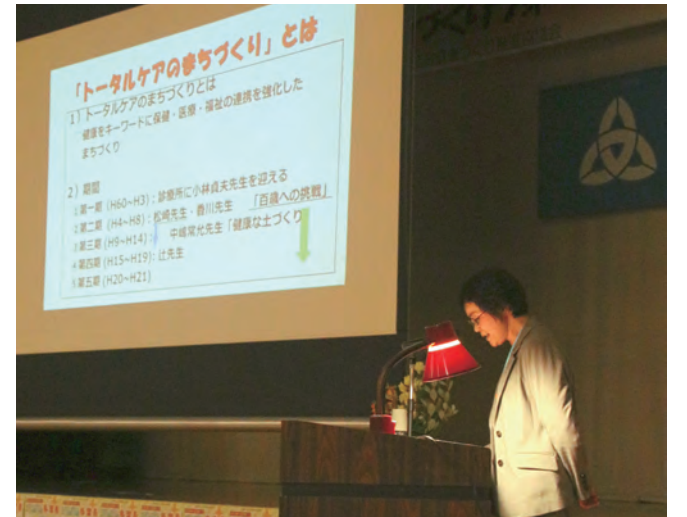
冷静な判断とテクニックで勝負！ 第58回町民卓球大会

3月3日に、第58回町民卓球大会が総合体育館で開催されました。

大会には、町内各地区から男子10チーム、女子5チームの計約150人が出場し、白熱したラリーを繰り広げていました。大会結果は次のとおりです。

男子の部 **優勝** 松原 **準優勝** 久々子 **第3位** 日向
女子の部 **優勝** 久々子 **準優勝** 松郷 **第3位** 河原市

↓西会津町の健康づくり施策を紹介する講師の田崎さん



健康づくりの先進地に学ぶ 健康づくりフォーラム

2月17日に、健康づくりフォーラムがはあとびあで開催されました。

当日は「トータルケアのまちづくりを目指して」と題し、福島県西会津町職員の田崎美記子さんと同町内の道の駅「ふるさと薬膳レストラン櫟」代表の斎藤フミ子さんによる講演が行われ、参加者約110人は、健康づくりについて理解を深めていました。

↓明るい口調で話す講師の鈴木さん



元オリンピック選手の生き方に学ぶ 鈴木明子講演会

3月7日に、鈴木明子さん（元フィギュアスケート選手）の講演会がなびあすで行われました。

この講演会は、美浜ライオンズクラブ結成50周年記念事業として同クラブが開催したものです。

当日は「ひとつひとつ。少しずつ～自分らしく前へ進む～」と題した講演が行われ、美浜中学校生徒や町民約300人は、熱心に耳を傾けていました。

↓グルーガンでおひな様を台座に飾り付ける参加者たち



自然エネルギーを使った暮らしをやってみよう きいばす企画講座

2月24日にきいばす企画講座「おひな様づくり」がきいばすで行われました。

この講座は、バイオマス利用の一環として開催されたもので、きいばすの裏山で取れた松ぼっくりやどんぐりを使っておひな様を制作しました。

参加した親子16人は、絵具や接着剤等を使い、色とりどりのおひな様に仕上げていました。

↓医療保育科を代表して卒業証書を受け取る畑帆乃花さん（竹波）



希望を胸に未来へと羽ばたく 若狭医療福祉専門学校卒業式

3月5日に、若狭医療福祉専門学校（大藪）の卒業式が同校で行われました。

今年度は、同校で初めて受け入れたベトナム人留学生13人を含む85人が卒業しました。

式では、卒業生を代表して河嶋笑奈さんが「それぞれの専門分野で社会に貢献できるように常に向上心を持ち日々努力していきたい」と答辞を述べました。

↓美術作品を鑑賞する来場者



町内アーティストの作品が集結 第1回美浜美術作家展

3月5日から12日にかけて美浜美術作家展がなびあすで開催されました。

この催しは、町内の芸術家10人が絵画、彫刻等を出品したもので、今回が初めての開催となります。

実行委員会会長の野瀬成夫さんは「町内の芸術家の作品をみて、町民の皆さんの美術に対する関心が高まることを期待しています」と話されていました。



子育て支援センターに 遊びに来ませんか？

ぽ かばかと暖かい春の日差しが降り注ぐ日が
多くなり春の訪れを感じます。外に出て体を
動かして遊ぶと気持ちがいい季節になり、センター
の園庭も遊具や砂場で遊べるようになりました。

センターでは、毎日11時から「にこにこタイム」
という時間を設け、親子が触れ合える手遊びや体
操、季節の歌等を行ったり、天気の良い日は散歩
に出かけたりしています。



↑にこにこタイムで遊ぶ参加者

センターへの来所を通してママ友ができたり、保
護者同士で子育てについての情報交換ができたり
するので、子育てがもっと楽しくなります。

センターの行事等の情報は、毎月発行している
「みはま子育てわくわくカレンダー」に掲載していま
すので、ぜひご覧ください。

※「みはま子育てわくわくカレンダー」は、町ホー
ムページに掲載しているほか、下記の場所に設
置しています。

はあとびあ、東部診療所、丹生診療所、なびあす、
図書館、各保育園、文化会館、Aコープ美浜店、
ゲンキー美浜店、総合体育館、町福祉課、子育て
支援センター

※お問い合わせ先
子育て支援センター(担当・河村) ☎32-0192

高齢者の定義

高齢者と聞くと、何歳くらいの方とイメージされるでしょうか。今回は高齢者
の定義やその意味について紹介します。

高齢者とは

高齢者とは、世界保健機関(WHO)の定義では
65歳以上となっており、さらに細かく65歳～
74歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と定
義しています。しかし、65歳になった途端に大
きな変化があるのでしょうか。「体が動かしにく
くなった」、「物覚えが悪くなった」等の意見が聞
かれそうですが、今の日本では、65歳以上の方
でも活動的に生活している方の方が多いように思
われます。

高齢社会は「長寿社会」という言葉でも表現され
ます。高齢社会よりは健康な高齢者の社会という
イメージがわく言葉です。長寿になったという言
葉の背景を探ると、最近の高齢者は変わってきた
ということではないのでしょうか。21世紀の高齢



東部診療所 村寄医師

者は体の機能も維持され、20世紀の高齢者に比
較して若返っているように思えないでしょうか。

「高齢者」の見直し

日本老年医学会では、近年高齢者の定義を見直
すべきではないかとの意見があり、75歳～89歳
を高齢者としてはどうかと提案されています。同
時に65歳～74歳は「准高齢者」と定義し、まだ
まだ若い、活力ある方々たちと考えようというので
す。もちろん医学会が言うのですから、見た目の
話ではなく、加齢に伴って現れる脳や体の衰え
が、最近では5～10年遅く認められるようになって
いるという見解に基づいてのことのようです。

※お問い合わせ先
東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

平成30年度 推進集落の活動について



町では、げんげん歩楽寿推進の一環
として、区民の健康意識の向上や生活
習慣改善を目指し、毎年度5～6区を
「げんげん運動推進集落」として指定し
活動しています。



↑平成30年度推進集落指定式

■平成30年度 推進集落活動の紹介



料理講習会

佐柿区

7月～8月
みそ汁の塩分濃度チェック
8月
料理講習会、ラジオ体操講習会
10月
尿中塩分測定



消火栓を巡るウォーキングイベント

新庄区

10月
消火栓を巡るウォーキングイベント
12月
減塩おせち料理講習会
みそ汁の塩分濃度チェック



ストレッチ体操教室

山上市

8月
みそ汁の塩分濃度チェック 1回目
10月
ストレッチ体操教室&料理講習会
11月
みそ汁の塩分濃度チェック 2回目



減塩みそ汁の試飲

金山区

10月
減塩みそ汁の試飲
11月～12月
みそ汁の塩分濃度チェック

和田区

6月
みそ汁の塩分濃度チェック 1回目
10月
みそ汁の塩分濃度チェック 2回目

適切な食事や運動は、習慣化することが大切です。推進集落活動をきっかけに、地域で
行った健康づくりを継続し、高血圧や糖尿病、脂質異常等の生活習慣病を予防しましょう。
推進集落がすでに終了した地区でも、地域の健康づくり推進員を中心に、食生活改
善推進員や区の各団体等と連携し、集落のイベント等で健康づくりに関する活動を行
っています。町でも健康講座や料理講習会等の講師派遣や、デジタル塩分計の貸出
等も行っていますので、お気軽にご相談ください。

※お問い合わせ先
町健康づくり課
(担当・長谷川)
☎32-6713



毎日野菜を「プラス一皿」食べましょう！

町民の1日あたりの野菜摂取量は平均222gで、
厚生労働省が示す目標値350gに128g足りていま
せん。毎日の食事に、旬の野菜を使用した副菜を1皿
追加し、不足分を補いましょう。

旬の野菜のいいところ

- ・旬ではない時期よりも栄養が豊富に含まれています。
- ・野菜本来のおいしさが味わえます。
- ・鮮度が高く、収穫量が増えるため、値段が手ごろです。



↑野菜量約70g



↑野菜量約145g(+70g)

慶弔

2/1～2/28 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏 名	性別	父・母	住 所
角 一 響 希	女	将也・裕美	佐 田
宮 原 茉 白	女	昌憲・美佳	南 市
廣 瀬 颯 泰	男	健一朗・悠希	久々子

◎ご結婚

氏 名 (旧 姓)	住 所
澤 田 駿 & (藤 原) 玲	興道寺

◎おくやみ

氏 名	住 所	年齢	届出人
塩 野 米 夫	菅 浜	84	塩 野 孝 弘
川 崎 幸 江	早 瀬	90	川 崎 孝 一
高 木 清 枝	新 庄	88	高 木 和 男
高 田 君 枝	菅 浜	90	高 田 敏 和
織 田 辰治郎	笹 田	91	織 田 健 一
中 島 うめ子	佐 田	89	中 島 正
平 野 肇	南 市	86	平 野 艶 子
酒 谷 鐵 男	日 向	88	酒 谷 雅 昭

広報 みはま・ハートフルクイズ

四文字熟語ブロック分割

パズル面にある漢字群を7つの四字熟語に分割してください。うまく分割できると2つの漢字があります。それを並び替え、美浜町の地区・場所・行事の名称をつくってください。

例

大	器	不	言
和	晩	成	実
洋	折	衷	行

大	器	不	言
和	晩	成	実
洋	折	衷	行

坊	主	朝	向	一	体
日	三	三	三	位	二
日	四	暮	三	寸	束
三	五	五	三	三	三
面	六	臂	舌	先	文

●応募方法

はがきに、答えと住所、氏名(感想も大歓迎！)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締め切りは、4月10日(水)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】

kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



●3月号の答え 米

●応募者総数は15人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

わが家のアイドル



和多田 一喜さん・まなみさん
(金山)の長男

あやた 絢太ちゃん(2歳1カ月)

ただいまおしゃべりの勉強中。難しい「ゴミ収集車」だって言えるよ！

音楽に合わせて踊るのも歌を歌うのも大好き。でも、ちょっとお家の人以外の前では恥ずかしくて出来ないの…。いつか皆の前で元気に踊れたらいいな。

町人さん

4月から自衛隊(陸上自衛隊)に入隊される

中村 高輔 さん(松原)



*自衛隊に入隊しようと思ったきっかけは何でしたか？

元々、公安の仕事に就きたいと思っており、自衛隊の中では陸上自衛隊が一番自分に向いていると思ったため、入隊しようと思いました。

*自衛隊に入隊されるにあたり、現在のお気持ちを聞かせてください。

たくさんの方から激励をいただき、身の引き締まる思いです。

*今後、どのような隊員になりたいと思っていますか？

国のため、自分のため、そして美浜町のために訓練を積み、立派な自衛隊員になりたいと思っています。

昔話
とよまさ
ふもやま
(84)

「福井県の戸祝いとキツネガリ」が
国無形民俗文化財に選択される

平成31年2月8日、国の文化審議会は「福井県の戸祝いとキツネガリ」を国無形民俗文化財に選択するよう文化庁長官に答申しました。美浜町では「日向の水中綱引き」に続き、2件目の選択無形民俗文化財となります。

さて、あまり聞きなれないこの通称・選択無形民俗文化財、正確には「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」と言い、文化庁長官が重要無形民俗文化財以外の無形の民俗文化財の中から選択したもので、今後、その伝統芸能や行事等の記録(映像記録等)が整うと、国指定の無形民俗文化財への候補となる文化財を指します。平成30年3月8日現在、全国で635件の文化財が選択されています。

今回、選択された「戸祝いとキツネガリ」は福井県内に伝承される小正月の行事で、子どもたちがバイやイワイキ等と呼ばれる小型の祝い棒を持って集落内を回り、家々の玄関先や前庭等で棒を叩きながら唱え歌をうたい、五穀豊穡や無病息災を祈願するとともに災厄を払う行事として知られています。

町内では「戸祝い」や「祝いましょう(イワイマシヨウ)」、「ガリアイ」、「カイロ講」等の名で知られ、北田・坂尻・佐野・中寺・新庄の5地区のものが今回、選択され、また小浜市・若狭町・おおい町と合わせて35地区の行事が「福井県の戸祝いとキツネガリ」として選択されました。

坂尻のガリアイは、小正月前の日曜日の夜(かつては1月14日夜)に行われ、門松で作った祝い槌で地面を激しく叩いて回り、日付が変わった頃に子どもたちの年長者一行が村中の玄関口で家褒めの文句をうたい、漁師の家の前で「一番福」、農家の前で「福は内」、商家の前で「末繁盛」、新婚・新築・厄年の家の前で「祝いましょう」と唱えられていました。

また、佐野では1月4日夕刻に行われ、祝い唄を歌い、玄関口の



↑佐野の「祝いましょう(イワイマシヨウ)」
(『目で見える美浜の文化財』16頁収録)

地面を竹の棒で激しく叩き、家人からもらったお年玉やお菓子、ミカン、リンゴ、吊り柿、学用品をテンゴ(手籠)に入れて、次の家に向かいます。左の写真は今から40年ほど前に撮影されたもので、賑やかで、めだたい様子が伝わってきます(『目で見える美浜の文化財』昭和55年・美浜町教育委員会発行)。

戸祝いは新年の前祝いと招福を目的とする行事、キツネガリは農作物等を荒らす害獣の象徴とされる狐を村境に追い払う除災の行事。本来は別々に行われていたこれらの行事が、福井県では両者が習合した形で行われているように、同系統の行事の変遷や地域性を考える上で貴重な文化財として評価できます。

(美浜町歴史文化館)

文芸欄

俳句

水無月俳句会

下萌の峽に廃墟のまた増ゆる

山田 世志男(佐 柿)

新町長生れる日なり海猫渡る

田辺 粧洋(日 向)

今年また杖をたよりに梅を見に

森久 伍一(新 庄)

春宵や雅楽師の笛透き通る

楠 充代(佐 田)

老梅の満開に咲き庭しづか

野原 方子(久々子)

雪やみて大の字消えし京の山

浅妻 みどり(大 藪)

幼子の手よりこぼれる雛あられ

政岡 弘子(大 藪)

白梅のこぼる野点の緋毛氈

藤本 藤絵(新 庄)

■くらしのカレンダー■

平成31年4月

1 (月)		17 (水)	13:30～母親学級(はあとびあ) 古紙 (東地区)
2 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	18 (木)	
3 (水)		19 (金)	10:00～美浜東「美し野」ニュータウン 現地見学会(山上)～22日※14頁参照 14:00～もの忘れ相談会(なびあす)
4 (木)	保育園入園式(各保育園) 古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	20 (土)	
5 (金)		21 (日)	7:50～ハートフル朝市開場式 (久々子水神公園広場)
6 (土)	小中学校入学式(各小中学校) 8:30～第49回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球 大会(総合運動公園野球場)～7日	22 (月)	
7 (日)		23 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
8 (月)	宇波西神社例大祭(若狭町気山)	24 (水)	10:15～育児講座「子育てについて」 (はあとびあ)※11頁参照
9 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)	25 (木)	13:00～3歳児健診(はあとびあ)
10 (水)	古紙 (北・南地区)	26 (金)	8:00～住民健診[特定健診、肝炎、肺・胃・ 大腸・前立腺がん検診](はあとびあ)
11 (木)	10:00～6～8か月児教室(はあとびあ) 13:30～育児学級(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	27 (土)	
12 (金)		28 (日)	8:00～ハートフル朝市 (久々子水神公園広場) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源) 休日受入(～12:00 エコクル美方)
13 (土)		29 (月)	昭和の日
14 (日)	8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方) 8:30～三方五湖一斉清掃 (久々子湖・日向湖周辺)	30 (火)	国民の休日
15 (月)		最新の情報はケーブルテレビの 行政チャンネル(091ch)でご確認ください	
16 (火)	10:00～ミニさくらんぼ(はあとびあ) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)		

連休中のごみ収集・受入れは
ホームページをご確認ください。

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事 ●ごみ・資源回収

●行事の予定は、3月15日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。

●網かけの日は、役場はお休みです。

●古紙は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。

●休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数 前月比
9,551人(－11)
男 4,670人(－5)
女 4,881人(－6)
世帯数
3,696世帯(－1)
平成31年3月1日現在

▽表紙の写真

3月7日の戸嶋町長初登庁の様子です。町職員らが出迎える中、戸嶋町長は役場庁舎の正面玄関から登庁し、1期目の戸嶋町政が始まりました。

まちウォッチングは、広報みはまの記事の中でも、町民の皆さんとお会いする機会が多いコーナーです。できる限り取材に行かせていただき、この広報みはまで紹介したいと思っていますので、イベント会場等でお会いしましたら気軽に声をかけていただけたらと思います。(P)

まちウォッチングは、広報みはまの記事の中でも、町民の皆さんとお会いする機会が多いコーナーです。できる限り取材に行かせていただき、この広報みはまで紹介したいと思っていますので、イベント会場等でお会いしましたら気軽に声をかけていただけたらと思います。(P)

こんにちは
企画政策課です。